



社会的養護から巣立った若者を応援する ～困難を乗り越えられる社会・地域へ～

日時 2018年 10月 4日(木) 18:30～21:20 (開場 18:00)

会場 ^{つのはず} 角筈区民ホール

東京都新宿区西新宿 4-33-7

- 【バス】WEバス(旧新都心循環バス)→新宿駅西口京王百貨店前「21番バスのりば」
バス停「パークハイアット東京前」下車
京王バス→新宿駅西口京王デパート前「20番バスのりば」
中野行または中野車庫行でバス停「十二社池の上」下車
- 【地下鉄】京王線→「初台駅」東口より徒歩10分
都営大江戸線→「都庁前駅」A5出口より徒歩10分



- プログラム
- 18:30 開会挨拶：宮本みち子 (放送大学名誉教授)
 - 19:00 基調講演：村木厚子 (元厚生労働事務次官)
 - 19:30 報告①：前川礼彦 (自立援助ホーム湘南つばさの家 ホーム長)
 - 19:45 報告②：高橋亜美 (アフターケア相談所ゆずりは 所長)
 - 20:00 事業説明：池本修悟 (首都圏若者サポートネットワーク事務局長)
 - 20:15 パネルディスカッション
コーディネーター：早川悟司 (児童養護施設子供の家 施設長)
パネラー：伊藤由理子 (生活クラブ連合会 常務理事)
高橋亜美 (アフターケア相談所ゆずりは 所長)
中根康子 (くらしサポートウィズ)
前川礼彦 (自立援助ホーム湘南つばさの家 ホーム長)
特別コメンテーター：加藤登紀子 (若者おうえん基金 おうえん団長)
 - 21:15 閉会挨拶：池田徹 (一般社団法人ユニバーサル志縁センター 代表理事)

宮本みち子



村木厚子



加藤登紀子



申込 裏面をご覧ください

参加費 無料 (※会場にてカンパを呼びかけております)

ご招待状

日頃より大変お世話になっている皆様へ

児童養護施設や里親など、「社会的養護」と呼ばれる公的な支援のもとで育つ子どもたちは、日本だけで約4万6千人います。彼らのなかには、幼いころに虐待をはじめとしたつらい経験をしている人も多く、生きるうえでの困難を抱えていることが少なくありません。そのため、ひとりひとりの個性や実情にあわせた丁寧なサポートが必要となります。

しかし、18歳になると彼らは、施設や里親家庭を出て自立することが求められます。また、何らかの事情により、18歳を前に社会的養護の環境から出ていく子どもたちもいます。

18歳前後の若者が大人たちのサポートなしに自立するには、多くの困難があります。子ども時代のつらい経験がある若者ならばなおさらです。しかし、より困難な状況にあればあるほど、既存の制度では対応ができず、伴走者たちの持ち出しによって支援がおこなわれているのが現状です。

子ども時代につらい経験をしたのみならず、自立においてもさまざまな困難を抱える子ども・若者たちを、彼らに寄り添って活動する伴走者たちへのサポートを通じて応援するべく、首都圏若者サポートネットワークは立ち上がりました。

そのキックオフとして、10月4日（木）18時30分より当ネットワークの活動内容と社会的養護の実情を紹介するシンポジウム『社会的養護から巣立った若者を応援する～困難を乗り越えられる社会・地域へ～』を開催いたします。

賛同してくださる方々、寄付をしてくださる方々、活動を共にする方々はもちろんのこと、社会的養護についてご存知ない方々にも私たちの取り組みについてわかりやすくお伝えしたいと考えております。

お忙しいことと存じますが、ぜひご参加をお願い申し上げます。

シンポジウムへご出席いただける方は、お手数ですが下記の方法でお申し込みください。

参加申込

WEB → <https://goo.gl/fN68BT>

※左のQRコードを読み込むと、申し込みフォームへアクセスできます。

FAX → **03-6450-1821**

※FAXでお申し込みの際は、下記事項および「シンポジウム参加希望」とご記入のうえご送信ください。

- (1) お名前
- (2) ふりがな
- (3) ご所属
- (4) お電話番号
- (5) メールアドレス（※お持ちであれば）
- (6) シンポジウム終了後の懇親会（会費4,000円程度）へのご参加の可否

参加申込フォーム



お問合せ

首都圏若者サポートネットワーク事務局

東京都港区新橋4-24-10 アソルティ新橋ビル5階502 / TEL → 03-6450-1820

MAIL → info@wakamono-support.net / URL → <https://wakamono-support.net/>